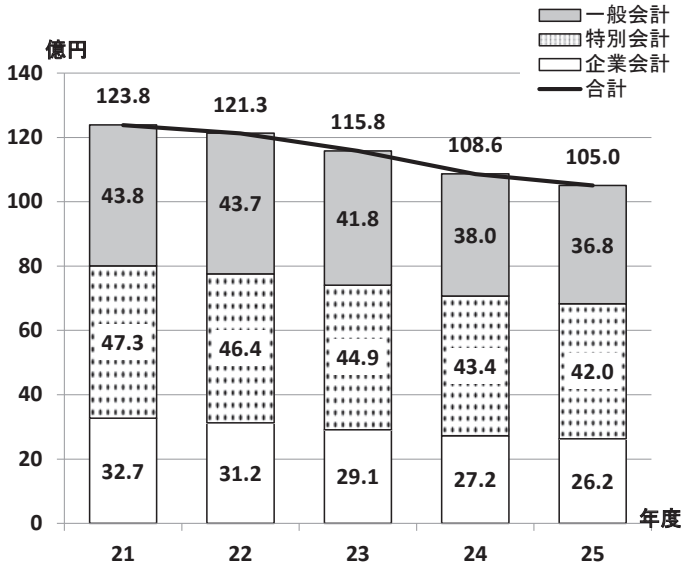
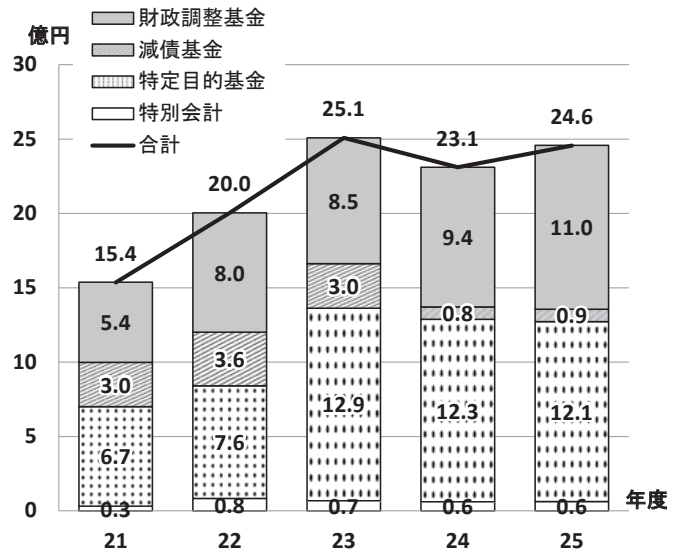


平成25年度

地方債残高の推移



基金積立金の推移



「意見書」を提出

○次の意見書を内閣総理大臣等に提出しました。
なお、文章は要約して掲載しております。

不妊治療の保険適用等を求める 意見書（町議会提案）

近年、不妊に悩む夫婦は増加傾向にあり、その数は120万組くらいともいわれています。その治療が高度な治療へと進んでいくにつれ、費用も高額となっています。現在、これらの高度治療は医療保険の対象外のため自費診療となり、高額な自己負担を要するため、子どもを持つことをあきらめざるを得ない夫婦も少なくない。

よって、次の措置を講じられるよう強く要望する。

- 一 特定不妊治療費支援制度の拡充
- 二 人工授精、体外受精による不妊治療の保険適用

教育予算の拡充を求める意見書

教育予算を国全体として、しっかりと確保・充実させるため、次の事項を実現されるよう、強く要望する。

一 きめ細かな教育の実現のため

に少人数学級を推進すること

二 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、その根幹となる義務教育費国庫負担制度を堅持すること

三 震災からの教育復興のための予算措置を継続して行うこと

東海第二原発の 廃炉を求める意見書

東海第二原発は、30キロ圏内には100万人が生活しており、国内の原発の中で最も人口が過密となっています。我が五霞町までわずか90キロ弱、首都圏までは120キロしかありません。住民の命と生活を第一に考える立場に立つ時、これ以上の操業を認めることはできません。

以上のことから、東海第二原発の再稼働を認めず廃炉を求める意見書を提出します。

一 住民合意のないまま東海第二原発の再稼働を認めないこと

二 国と事業者の責任において、東海第二原発をすみやかに廃炉とすること